

子育て、いのち、暮らし第一の都政へ

日本共産党

都政で実現します

いのち守り育む子育て、保育、教育

私は、練馬の保育・学童クラブ運動に関わり、保育所待機児童問題で住民とともに運動。2014年度は認可保育園などが1000人以上増えました。しかし練馬では、今年4月の認可保育園などの待機児は830人です。認可保育園待機児ゼロ実現へ、全力で奮闘します。



都に「子供食堂」など、子供の貧困対策予算増額を申し入れ（2016年11月都庁にて）

- 認可保育園を9万人分増設
- 子どもの貧困対策予算の大幅増を
- 幼稚園の父母負担軽減、子育て支援
- 小中学校全学年で35人学級を楽しい学校わかる授業の実現、合意ない学校統廃合中止に
- 差別解消法生かしてグループホーム増設など障がい者・児への支援強化

長生きして良かったといえる東京に

お年寄りから「長生きはしたくない」との悲痛な声が届きます。私は、特養ホーム増設や負担軽減に奮闘します。

- 特養ホーム2万人分増設を
- 3000円のシルバーパスの実現

練馬の病床増と医療費負担軽減を

私は、順天堂病院の周産期医療の拡充、練馬駅前の回復期リハビリ病院の新設や大泉学園の回復期病院の誘致に道を開きました。しかしまだベッドの数は23区平均の3分の1（人口比）です。

- 新病院の誘致など練馬の病床増を
- 小児救急の充実
- 国保料の値下げ

若者の雇用・中小事業者支援

- ブラック企業をなくし若者の雇用を支援
- 魅力ある商店街づくり支援
- 住宅リフォームへの助成を

都政の闇、利権に切り込む とや英津子 確かなチカラ

豊洲移転は中止を

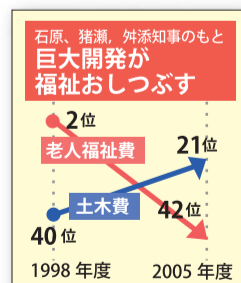


食の安全 - 安心を優先し 築地再整備こそ真の解決策です

豊洲の謎の地下空間を発見できた共産党だからこそ都民の立場でがんばれます。

- 豊洲新市場は、地下も地上も危険
一都の第6回専門家会議で豊洲の「汚染残る」（平田座長）と発言。（5月18日）

外環道などの巨大開発優先から暮らし優先に転換



石原知事以来の自民・公明都政のもと、左グラフのように都政が歪められてきました。この歪みにメスを入れる本当の転換が求められます。

とりわけ「東京外環道路」の見直しは不可欠。事業費1兆6千億円で、さらに2兆円かけて延長する計画です。税金の使い方の転換こそ必要です。



都議予定候補

前練馬区議会議員

とや英津子

戸谷えつこ

〔経歴〕
● 党区議団長 ● 練馬の中村生まれ、練馬育ち。
53才 ● 練馬区労協、区議団事務局員 ● 家族：夫、2女・1男1犬 ● 趣味：ハイキング

区議14年の経験生かし
こんどは都政で
働かせてください

練馬区議会議員として4期14年、3人の子どもの母親として、子育てや教育、医療問題に携わってきました。認可保育所や特養ホーム増設。豊洲移転ストップで食の安全を守ります。安倍政権の9条改悪やめさせ、平和な未来を次の世代に引き継ぎましょう。

私の後継者です。推薦します



日本共産党 都議会議員 松村友昭

住民に親身で、爽やかなとやさんへ、私に倍するご支援をお願いします。

都政をゆがめた自民・公明党に 厳しい審判を